

らくのへ 議会だより

令和7年
2月7日発行

No.123



六戸町議会
ホームページ
QRコード

凍晴 ーいてばれー

四季折々にさまざまな表情を見せる館野公園
雪が積もり、さつき沼も凍りつく寒さです。
館野公園の四季シリーズ、最終回をお届けし
ます。

【議案審議】

12月定例会で決まったこと …… 3

【一般質問】

六戸学園の通学路など …… 4

【議員県外視察レポート】

先進地北海道へ …… 8



新年のごあいさつ

皆さまの幸せを願い、
ともに歩む議会を目指して

新年、明けましておめでとうございます。

令和7年という新しい年を迎え、気持ちも新たに日々の生活に勤しんでいることと思っております。

本年が町民の皆さまにとって明るく、そして穏やかな年となることを願い、町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、議会活動並びに町政全般に対して、ご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼を申し上げます。

昨年中は、皆様方の力強いご支援によりまして議会活動に専念し、地域の振興を始め、町政の発展に微力を尽くすことができましたことに心から感謝し、改めて厚くお礼を申し上げます。

さて、4月に町内小学校3校と中学校2校を1校に再編した「六戸町立義務教育学校六戸学園」が開校します。

次代を担う子ども達の学びが平等となるとともに、よりよい学習環境になることを願います。

内外の政治経済・社会情勢は誠に厳しいものがありますが、本年も住民の皆様

の負託と御期待に添うべく、年の初めに志した計画・信念に基づいて懸命に努力して参ります。

今後におきましても、町民の代表機関として、町執行機関とお互いに緊張感を持ち、切磋琢磨しながら、町民の幸せを願い、皆様と共に歩む議会となれるよう、全力を尽くしていく所存でございますので、町民の皆様には、尚一層のご支援と

ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、町民の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。

令和7年1月
六戸町議会議長

下田 敏美



令和6年12月13日 意見交換会后、六戸中学生と

令和7年4月から 子ども医療費助成 高校生世代まで拡大！

12月定例会は令和6年12月6日から10日までの5日間の会期で開かれました。
専決処分の報告、条例改正、補正予算など19件の案件が町長から提出されました。審議した結果、議員全員で原案通り可決されました。

補正予算

◇一般会計6585万円を増額

令和6年度一般会計補正予算では、6585万円を増額し、歳入歳出の総額が141億5277万円となりました。
(7ページの表をご覧ください。)主な補正内容は次のとおりです。

▽子ども医療費助成 (193万円)

▽官庁街線街路灯設置工事ほか (275万円)

▽六戸学園の部分引き渡し後に発生する、電気代や上下水道料の光熱水費 (395万円)

条例

◇子ども医療費助成の対象年齢を18歳以下に拡大

子どもの対象年齢を高校卒業年度相当年齢の18歳以下に拡大し、これまでの3年間ごとの見直しを廃止します。
施行日は令和7年4月1日から。

◇町議会議員の期末手当額を引き上げ

◇町特別職・一般職員の期末手当額を引き上げ

青森県人事委員会の給与勧告に準じ、期末手当の支給割合を引き上げます。

工事の請負契約の変更

◇六戸町立義務教育学校六戸学園建築工事

屋内運動場(体育館)へ約700席の移動観覧席と収納ステージを追加し、屋内運動場の敷地内の高低差の調整や、学園に設置する書籍棚の家具及び各工種を精査したことによる増額です。

・契約金額 (変更前)

54億3233万円

(変更後)

55億6097万円

・変更後工期

令和5年7月21日から

令和7年3月31日

一般質問には3議員が登壇。六戸学園の通学路、診療所の運営、消防団員の大型自動車免許取得、旧柳沢駅交差点についての町の考えを問いました。なお、主な審議等は次のとおりです。

◇六戸町立義務教育学校六戸学園電気設備工事
外部用防犯カメラ及び監視装置の設備等を追加し、各工種を精査したことによる増額です。
・契約金額 (変更前) 7億1225万円 (変更後) 7億3283万円
・変更後工期 令和5年7月21日から 令和7年3月31日



建設が行われている六戸学園



まつむら えいこ 議員 松村 英子

六戸学園周辺の通学路の整備は

歩道と街灯整備を順次行う — 町長

町長 現在建設中の六戸学園前の町道に、延長約330m、幅約3・8mの歩道を、犬落瀬・通目木線歩道整備工事により整備していきます。また、総合運動公園までの移動の安全対策として、新規に横断歩道を町道高校通り線と町道官庁街線に設置し、段差を解消する切り下げ工事を行いました。あわせて、夕方や夜間など暗い時間帯の安全確保のため、高さ約10mの街路灯1基を、町道官庁街線の横断歩道付近に設

問

六戸学園周辺はカーブが多く、街灯が少ないため危険な箇所が多いと感じます。通学路の安全対策は。

町長

官庁街を中心とした道路を通学路と指定します。子ども達は人目の多い街路灯のある箇所を歩かせることを基本とし、外灯が必要な場所にはこれから設置していきます。

問

六戸学園周辺の防犯対策は。

置する予定です。



現在、六戸学園前の通学路整備をおこなっている

不登校児保護者の離職状況は

具体的な情報は把握していない — 教育長

問

不登校児を持つ保護者の離職について、町では把握しているか。また、いるのであれば、どのような対応をしているか。

教育長

長期欠席（不登校）の児童生徒に係る保護者の離職状況について、学校等での面談の中で情報を共有することはありますが、具体的な情報は把握していません。また、保護者の離職や転職は、子どもの長期欠席が直接的な原因なのか、間接的なものなのか、判断は難しく、各家庭の事情でもあるため、これまで特別な対応はしていません。

診療所の今後の運営方針は

患者さまから頼られる医療機関を目指したい — 町長

問

診療所が抱える財政的な問題や課題を踏まえ、健全な診療所運営を目指すために、どのような取り組みをしていくべきか。

町長

今後も引き続き、患者さまから頼られる公立の医療機関を目指し、診療所が抱える問題に対し、所長をはじめ医療従事者と意見交換を行い、問題や課題解決に向けた取り組みを図っていきます。

診療所事務長

令和7年度予算編成に向けて、6つの柱を掲げ事業を進めていきます。1つ目は、「介護と福祉」との連携強化。2つ目は、「訪問診療」の拡充。3つ目は、「高齢者が安心して受診できる体制づくり」。4つ目



頼られる医療機関を目指す診療所



ながね かずお 長根 一男 議員

金矢地区にバイパス道路を

今後、県と相談していく — 町長

問 金矢地区を通る、県道22号線には上北自動車道の六戸・三沢インターチェンジがあり、金矢工業団地への通勤の交通量が増え、交通事故も多発している。事故防止のためにも、

金矢地区の住宅地を通らない、バイパス道路新設の考えは。

町長

金矢地区を通る、県道22号線は主要地方道三沢七戸線の道路改良事業を三沢市古間木地区から当町の金矢地区までの延長1・012区間について青森県において整備を進めています。

今年度から橋梁部の橋台等の工事を順次施工予定で、道路用地の取得も並行して



進めています。バイパス道路新設については、今後青森県と各種協議の場で、その他の整備方法も含め相談していききたいと思います。

問

六戸・三沢インターチェンジから金矢地区の住宅地を通り、金矢工業団地に入る大型車が増加しています。新しい橋(仮新金矢橋)が完成すると、三沢市方面から上北自動車道へ入る車両がますます増え

る可能性があります。三沢市から延びる道路のため、三沢市と協議し道路整備を青森県へ要望してみても

町長

県道22号線沿いには住宅があり、一般車両・大型車両・農耕車両の3つの車両が、同じ道路を使うことは、大変危険性が高いため、まずは青森県へ安全対策を要望し、道路整備の対策を講じるようお願いします。



県道22号線 道幅も狭く交通量も多い

消防団員に

大型免許取得の助成を

支援策を検討 — 町長

問

第一分団、第六分団に水槽付消防ポンプ自動車(常備されているが、大型自動車免許がないと運転ができない。自費で取得している、大型自動車免許取得の経費を助成する考えは。

町長

国では、消防団員の準中型免許の取得促進等について必要な取り組みを行なうよう、令和6年9月26日付で各自治体に通知をしています。



地域の安全のため活動している消防団 (令和7年1月5日)

消防車両を運転できる団員がいなければ円滑な消防団活動ができませんし、また、消防団員の確保のためにも、免許取得について何らかの財政支援が必要であると考えています。今後、他自治体の動向を踏まえ、支援策を検討していきたいと思えます。

フッ化物洗口※の実施の考えは

前向きに検討 — 町長



やまもと みのる
山本 実 議員

問

六戸学園が開校後、虫歯予防に効果があるとされているフッ化物洗口を1年生から9年生まで実施しては。

町長

実施している自治体の状況から、当町においても、前向きに検討して良い事業と考えています。事業経費や実施に向けた周知や体制整備など調整や協議すべき事項がありますので、今後検討していきたいと考えています。

※フッ化物洗口

低濃度のフッ化物水溶液で、一定時間「ぶくぶくがいがい」を行う方法で、むし歯を予防する簡易な方法。

旧柳沢駅交差点へ信号機を

道路形状を変えなければ難しい — 町長

問

旧柳沢駅交差点で令和6年9月23日に発生した死傷事故を受け、その後の町の対策は。

町長

交差点の東西道路の黄色区画線の引き直し、赤色灯の設置、桜ヶ丘団地の北側の樹木伐採を行いました。



桜ヶ丘団地北側の樹木が伐採された

問

町の対策後、交通事故は発生していないか。

町長

死傷事故以後、人身事故が2件発生しています。

問

旧柳沢駅交差点周辺の町内会や当町議会から、交差点に信号機を設置するよう要望したが、警察の回答は「保留」となった。その理由は。

町長

交差点北側に段差があり、車が時速50キロ以上でこの段差を通行すると車体が跳ね上がる可能性があります。現在の交差点のまま信号機を設置した場合、青信号で速度を落とさず交差点に進入することになり、事故が誘発される危険性が高くなること懸念されるためです。

問

今後、信号機が設置される可能性は。

町長

道路形状を変えなければ設置は難しいため、警察とも協議しながら取り組んでいきます。

議会を傍聴してみませんか？ 次は3月に定例会があります。

- 定例会に限り、町政全般に関して議員が質問できます
- 質問者の順番は通告した順番で行われます
- 質問形式は「一問一答方式」で行います
- 同一項目について質問の制限はありません
- 一人60分の制限時間があります



一般質問とは

☎ 議会事務局 ☎55-4547

審議した議案の 賛 否

第7回定例会(開会 令和6年12月6日)

議案名		採決賛否	審査結果	採決日
専決処分	令和6年度一般会計補正予算(第5号)(1221万円を増額補正)		承認	12月10日
条例の一部改正(専決処分)	六戸町国民健康保険条例の一部を改正する条例(国民健康保険法の一部改正により、国民健康保険の被保険者証が廃止されることに伴い、規定、字句の整理を行うため、所要の一部改正を行う)			
規約の変更	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更(構成団体である「西北五環境整備事務組合」が令和7年3月31日をもって解散することに伴い、組合規約から「西北五環境整備事務組合」を削除するもの)			
	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更(構成団体である「西北五環境整備事務組合」が令和7年3月31日をもって解散することに伴い、組合規約の別表から「西北五環境整備事務組合」を削除するもの)			
条 例	六戸町犯罪被害者等支援条例 (犯罪被害者等の支援に関し必要な事項を定め、被害者支援を推進するため新たに制定)		可決	
	六戸町議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (青森県人事委員会からの給与勧告に準じ、期末手当を引き上げ)			
	六戸町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (青森県人事委員会からの給与勧告に準じ、期末手当を引き上げ)			
	六戸町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 (青森県人事委員会からの職員の給与等に関する報告及び勧告に準拠し、職員の給料月額並びに初任給調整手当、寒冷地手当、期末手当及び勤勉手当の額等を一部改正)			
	六戸町下水道事業整備基金条例の一部を改正する条例 (新たに地方公営企業法を適用した下水道事業会計が開始されたことに伴う、所要の一部改正を行う)			
	義務教育学校新設に伴う関係条例の整理に関する条例 (令和7年4月1日新設の六戸町立義務教育学校六戸学園開校に伴い、所要の改正を行う)			
	六戸町子ども医療費助成条例の一部を改正する条例(子ども医療費助成の対象年齢の見直し)			
令和6年度補正予算	一般会計補正予算(第6号)(6585万円を増額補正)		全員賛成	
	国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)(32万円を増額補正)			
	介護保険事業特別会計補正予算(第2号)(323万円を増額補正)			
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)(14万円を増額補正)			
	国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第2号)(2105万円を増額補正)			
	下水道事業企業会計補正予算(2号)(収益的収入3503万円増額補正、収益的支出2274万円減額補正、資本的収入3281万円減額補正、資本的支出3293万円減額補正)			
工事の契約	工事の請負契約の変更 (((仮称)六戸町立義務教育学校六戸学園建設工事。契約金額55億6097万円)			
	工事の請負契約の変更 (((仮称)六戸町立義務教育学校六戸学園電気設備工事。契約金額7億3283万円)			

議会からも診療所運営について要望していきたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございました。

診療所運営について

議会だより(122号)、以前よりも読みやすかった。診療所運営ですが、高齢者の対応は良いと思いますが予防接種の時だけ、もしくは月1回でもいいので、土曜日対応できたら働いている人達も受けやすいと思います。検討出来たらと思います。
(女性 60代)

いただいた意見は議員全員で回覧いたしました。真摯に受け止め努力いたします。貴重なご意見ありがとうございました。

一般質問者をもっと活発に

一般質問者が少ない。最低、毎回4〜5人あつて欲しい。
(男性 70代)

傍聴席からひとこと



「ふるさと納税賞」5年連続受賞している。(町のパンフレットより)

白糠町

- 総人口 7030人
世帯数 3956世帯
(令和6年11月末現在)
- 面積 773.13km²
- 気候等 8月の平均最高気温が21.8度。1月と2月の平均最低気温がマイナス13度。太平洋沿岸に位置するため降雪量は少なく、真冬でもほとんど除雪は不要。
ふるさと納税賞5年連続受賞。過去4年間で累計寄付者数は200万人に達している。



先進地から学べ

議員県外行政視察研修へ

令和6年11月5日から8日にかけて、県外行政視察研修を行いました。議会では、議員個々の資質を高め、先進地から学び、政策提言につなげることを目的とし、北海道内の白糠町、芽室町、中札内村を視察しました。視察した内容と研修報告を要約してご紹介します。

◆ テーマ「ふるさと納税について」◆

白糠町は「子育て応援日本一の町」がスローガンの、人口7千人余りの町です。

令和5年度はふるさと納税寄付額が167億円で全国4位、寄付額の約半分が町財政に積立てられていました。この積み立てられた寄付額が、子育て・移住定住・新規就農支援や商品開発補助事業等に使われ、全国の納税寄付者へ町の様々な最新情報として発信されてきました。その情報と商品管理は、6人の役場職員が担っており、ネット上での書き込み等に細かく対応しているのは、自治体というよりも企業を彷彿させられました。

当町ではまずは、返礼品の品数の拡充、主力となる返礼品のPRの向上が必要ではないかと感じました。

また、白糠町だけでなく広域的な視点から北海道十勝地域が共同して発展していくような取り組みを行っていたのが印象的でした。





芽室町議会ではタブレットを有効に活用し説明を行っていた

芽室町

- 総人口 17774人
世帯数 8036世帯
(令和6年12月25日現在)
- 面積 513.76km²
- 気候等 湿潤大陸性気候で寒暖差が非常に大きいのが特徴。夏は30度以上、冬はマイナス20度以下になることがあり、年平均気温は約6度。年間降水量は少なく、日本有数の晴天率を誇る。ゲートボール発祥の地。とうもろこしの生産量日本一。議会改革が活発で全国ランキングでは常に上位にランクインし、令和5年度町村議会特別表彰を受賞している。

◆ テーマ「議会改革と議会運営の取り組みについて」 ◆

芽室町議会は「分かりやすい議会、開かれた議会、行動する議会」の実現に向けて取り組んでおり、最終的な目的は「住民福祉の向上」でした。

議会の使命は政策立案、行政の監視と評価、そのために住民参加、情報共有、機能強化を揚

げ、政策形成サイクルと通年議会制の導入で議員間討議も含め活性化を図っていました。

常に振り返りと検証を怠らず、議会が「住民福祉の向上」に尽くしているかを問うていました。さすが議会改革の先進地と感じました。

◆ テーマ「廃校施設の利活用について」 ◆

視察した中札内村交流の杜は、中札内高校の廃校に伴い、隣接の宿泊施設の指定管理者であるユービックハウス社の提案によるスポーツ・文化の総合施設で、四面のサッカー場があり、日本サッカーユースU15の全国大会を誘致していました。

平成21年開設からの施設改修工事費と備品等は3億円余り、令和5年度の入場者数は27千人、歳入80万円程に対し歳出4千万円程でした。

空港近くにある立地条件や、サッカーに関係したキーマンがいた事が活用の成功理由と感じました。

当町の5校の閉校後について、その活用や取り壊しなど課題は多いが、民間企業などからの企画提案等、当町に合った利活用の方法を検討していきたいと思います。

- 総人口 3823人
世帯数 1918世帯
(令和6年12月末現在)
- 面積 292.58km²
- 気候等 平均気温は夏は20度前後、冬はマイナス10度前後と寒暖差が激しい。北海道の中でもドライゾーンであるため、特に冬は降雨・降雪量が比較的少ない。NPO法人「日本で最も美しい村」連合に加盟している。

中札内村



視察時に他団体の研修会場として使用されていた体育館

令和6年11月28日議員全員協議会が開かれました。水管橋設置工事に係る会計検査院からの指摘事項、六戸町犯罪被害者等支援条例の制定、町民バス事業の見直しについて、町から説明がありました。

概要についてお知らせします。



令和7年4月から 町民バス便数、路線 減少

令和7年4月に開校する六戸学園の登下校スクールバスは、町所有全てのバスを使用予定のため、町民バスの運行路線と便数の見直しを行い、4月1日から新たな運行経路と時刻表で運行します。

水管橋設置工事 会計検査院から指摘

指摘を受けたのは小松ヶ丘処理区流域下水道接続13工区（水管橋）工事を発注する際の設計内容で、独立水管橋の設計は、地震時に支承部が破壊した場合でも、通水管が落下しないよう、橋軸方向及び橋軸直角方向に、落橋防止構造を設置することが、水管橋設計基準で定められています。

今回の工事の設計では、橋軸方向の落橋防止構造を設置する設計内容になっておらず、地震時の安全性が確保されていない状態との指摘を受けました。

今回の指摘内容は、安全性の追加施工を求めるもので、対策工事を年度内に完了する予定で進めています。

六戸町犯罪被害者等 支援条例の制定

町では犯罪被害者等基本法の趣旨に則り、犯罪被害者等の支援の基本となる事項を定め、犯罪被害者等が受けた被害の回復又は軽減及び犯罪被害者等の生活の再建を図り、誰もが安全で安心して暮らすことができる社会の実現を目指すことを目的とし、条例を制定します。

支援の概要

■相談受付

相談窓口は総務課となり、被害者等からの相談に応じて支援に関する情報を提供し、町の関係課や関係機関と調整・対応を行います。

■見舞金、支援金の支給

犯罪により被害を受けた方やその家族に対し、経済的負担の軽減や居住の安定を図るため見舞金や支援金を支給します。

◇遺族見舞金

- ・対象者 被害者の遺族
- ・支給額 30万円

◇重症病見舞金

- ・対象者 被害者本人
- ・支給額 10万円

◇転居費支援金

- ・対象者 被害者本人とその家族・遺族
- ・支給額 対象経費の合計額または20万円の内、いずれか少ない額

■施行日

令和7年4月1日

ハラズメント研修に参加

令和6年11月1日、

上北郡町村議会主催のハラズメント研修に参加した。講師は(株)エンジョブの須田 紘彬氏。

ハラズメントといえば思いつくのはパワハラ、セクハラ、カスハラぐらいか思いつかなかったが、資料のハラズメントカオスマップには57もある。

講師はこの研修の目

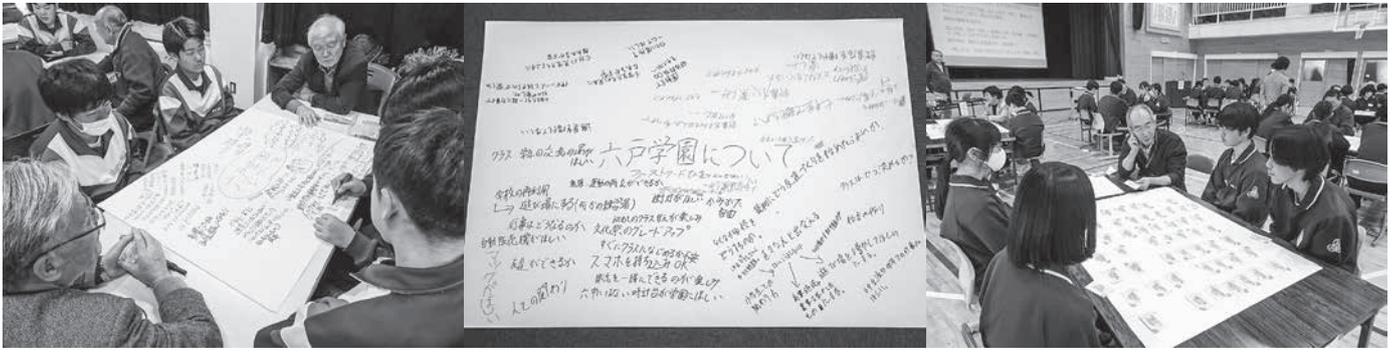
なければと思った。

松橋 一男

的を、誰しもが「無意識のうち」にハラズメントをしてしまっているかもしれない「常に自戒の念を持ちながら、他人を敬うきっかけになればよい」としていた。研修の内容は裁判例をだすなど具体的でわかりやすかったが、これほど多岐にわたるハラズメントが相手では、本当に注意深く発言し



上北郡内の議会が集まり研修した



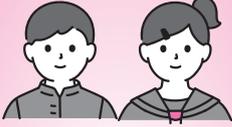
六戸中学校の生徒と意見交換会の様子

生徒達が書いた模造紙

七百中学校の生徒と意見交換会の様子

「六戸学園」の今年4月開校を前に、最初の卒業生となる中学2年生の生徒から新学校への率直な思いと意見を聴く目的で、議会との意見交換会を令和6年11月27日に七百中学校、12月13日に六戸中学校の両校で開催しました。

意見交換会は、議員の服装はカジュアル、生徒はジャケットのリラックスした雰囲気、議員1人と生徒3〜4人のテーブルのワークショップ形式で行い、各テーブルでは対話のツールにサウンドカードを使って、学園への期待や不安、勉強や部活、友人とのつながり等を話しながら模造紙に書き出していきました。




聴かせて みんなの思い

中学生と町議会議員との意見交換会

生徒には個別に「どんな学園になって欲しいか」を自由に書いてもらい、各議員は新学園の施設と部活やスクールバス等の運営について、生徒の質問に優しく丁寧に答えていました。

今後は、意見交換会で話し合われた各生徒の意見を集約して、教育行政における議会からの提言に繋げるために、議会改革推進委員会と議会運営委員会で精査しながら、議会としての取り組み課題としていきたいと思えます。

議会改革推進委員会
委員長 杉山 茂夫

中学生から
出された意見
(一部抜粋)

- 外壁工事が間に合うのが不安
- 1年生から9年生までいて楽しみ
- 六学になることは嬉しいけど、六中・七中がなくなるのは悲しい
- 日本一の六戸学園になってほしい
- 心の準備がまだできていない
- 今あることに囚われない、みんなできつっていく学校にしたい
- 自動販売機がほしい
- 交流できる楽しみ
- 六中、七中の体育館を解放してほしい
- 低学年をまとめることのプレッシャー
- 仲良くできるか
- 校則を生徒と一緒に考えたい



広報委員の
ちょっとひと
ひと休み

人との出会いに感謝

人生の中で人との出会い程ありがたいことはないと思います。沢山の方々に助けられ、今こうして生活できている事、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

小学生の頃、ソフトボールを教えてくれた先生、また、陸上を指導してくださった先生、今でも写真を見て懐かしく思います。

50人近い部員がいた中学のバレー部。上北郡内の大会で1位をとり、県大会に参加。今でも仲間と昔の話をしています。

高校では担任の先生の言葉で人生が変わりました。

高卒で仕事をしようとしていました。高校の担任の先生は「これから女性でも資格の時代が来るので、大学に行った方がよい」と話し、私の家まで来てくださり、今私があります。

沢山の方々の応援、指導があり、半世紀がすぎても今の仕事が続けられる事、本当に人との出会いに感謝、そして、これからも半歩、一歩とゆっくり新しい出会いにも感謝し、日々生活していこうと心新たにしています。

松村 英子



キラリ
六戸人

町民の皆さんの
がんばりは町の元気!!

今回はソフトボール
競技で活躍した
お二人です。



末林 竹内
すえ ばやし たけ うち

新菜 琴音
にい な こと ね

さん さん
㊦ ㊧

プロフィール…竹内さんは折茂地区在住。六戸小、六戸中卒、柴田学園高等学校3年。趣味は音楽鑑賞。末林さんは高森一地区在住。開知小、七百中卒、三沢商業高等学校3年。趣味は編み物。お二人は令和6年度開催の第51回東北総合スポーツ大会で優勝。SAGA2024 国民スポーツ大会 ソフトボール競技 少年少女 第3位に入賞。青森県では15年ぶりの出場、37年ぶりの入賞に貢献した。

ソフトボールとの
出会い

(竹内) 母がソフトボール経験者だったので、小学2年の時に六戸スポーツ少年団のキティーズでソフトボールを始めました。ソフトボールが好きだったので、強豪校の柴田学園で競技を続けたいと思い進学を決意しました。

(末林) 小学3年の時に友だちに誘われたのがきっかけで始めました。ソフトボールをやってみて、仲間と一緒にやるのが楽しかったしソフトボールが好きになりました。高校でもソフトボール部に入部しましたが、メンバーが不足していたので、二八連合の4校合同チームでソフトボールを行いました。

佐賀国スポ第3位

(竹内・末林) 当初は、国スポへの出場を目標としていましたが、東北総

青森県少年少女選抜チームのメンバー



合スポーツ大会で優勝し、国民スポーツ大会で第3位に入賞することができました。

メンバーで協力して勝ち取ることができたことは、自分たちの自信につながる良い経験となりました。

国スポで
大変だったことは

(竹内) 国スポのソフトボールの青森県選抜メンバーは予選会を経て選ばれましたが、そのうちの13名中11名が柴田学園女

子ソフトボール部のメンバーからの選抜でした。チームワークにはさほど影響はありませんでしたが、全メンバーで練習がなかなかできなかったことに、難しさも感じました。

(末林) 知らないメンバーの中に入っていくのは不安もありましたが、六戸キティーズで一緒だった竹内さんがいるのがよかった時は安心しました。普段は自主練習をし、合同での練習がある時には一生懸命頑張りました。

最後にひびいた

(竹内・末林) ソフトボールの競技人口が年々減ってきています。

私たちはソフトボールが好きですとやってきたので、多くの年代の方にソフトボールをやってもらい、楽しさを感じてもらいたいです。

聞き手 高坂 茂
長根 一男

編集後記

昨年のトピックは、プロ野球DeNAに育成3位で指名された当町出身の金洩光希投手ではなかったでしょうか。私たちも記事にしようとしたのですが、それは町広報が掲載するということで見送りました。

そして国民スポーツ大会で3位に輝いた、県選抜ソフトボール選手の竹内琴音選手と末林新菜投手を取り上げることになりました。

二人はいずれも高校でソフトボール競技は終わるといことですが、将来はぜひ地元の子ども達を指導する立場で戻ってきてほしいなと思いました。

広報委員 高坂 茂

議会広報委員会

委員長 松橋 一男
副委員長 松村 英子
委員 盛田 嘉彦
長根 一男
杉山 茂夫
高坂 茂

発行責任者

議長 下田 敏美